



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



延期を経て、マラソン大会実施！

— Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) —

昨日は七十二候でいう「鶏始乳（にわとりはじめてにゅうす）（にわとりとやにつく）」でした。春の気配を感じたニワトリたちが卵を産み始める時期と言われています。でも、不思議に思いませんか。卵は年中あります。調べてみると、冬の鶏は、自然な状態であれば、ほとんど卵を産まなくなるそうです。現在は、鶏の卵は生産管理され、季節を問わず供給されているので、私たちは卵の季節感を感じなくなってしまうということになりますね。

さて、1月28日に予定されていた令和4年度マラソン大会は、その前夜の降雪による路面凍結により、延期とさせていただきます。当日の朝、職員による走路確認したところ凍結があり、児童の安全な走行に心配がありました。PTA本部役員様とも相談・協議し、児童の安全を第1に考え、延期の判断をしました。延期決定の緊急・連絡メールが7時過ぎとなった為、各町の様子を確認する為、職員が巡回しました。中には町の集合場所に来ていた児童もあり、延期を伝え、帰宅を促しました。保護者の皆様にはご心配をおかけしましたことお詫び申し上げます。翌日、1月29日は、明るい朝陽が昇り、真っ青な抜けるような空が広がりました。ただ、運動場が気温の上昇につれ、大変ぬかるみ、コースに土を入れながらの実施となりました。ご覧になった保護者の方も、子供達が滑らないか大変心配をされたのではないのでしょうか。高学年の出走時刻では、このぬかるみ状態がより酷くなってきておりました。子供達には、トラックラインに沿うところが、特に荒れていること、走る距離だけを考えれば、少しでもインコースと考えがちですが、足をとられる可能性があること、それを心配して

スピードを落とすことになること等、自分でコースのどの場所を走ることがよいのか、自分でコース取りをしっかりと考えるように伝えました。流石に高学年です。出走から運動場を出るまで、運動場に帰ってきたとき、自分なりに考えたコース取りをしていました。このような状況ではありましたが、何とか令和4年度マラソン大会を実施することができました。実施にあたりPTAの役員様には児童の安全確保の為、看板設置、走路立番にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。沿道からは、あたたかく力強い声援を送っていただきました。子供達もその優しくあたたかい声援を受け止め、ゴールを目指す力にかえたことと思います。保護者の皆様、地域の皆様、子供達への熱い応援をありがとうございました。ここ2年間は、コロナ禍のこともあり、沿道応援も自粛を余儀なくされました。少しづつではありますが通常の様子に戻りつつあることは大変嬉しいことだと思っております。今年は、新型コロナとインフルエンザの同時流行、10年に一度有るか無いかの寒波襲来がありました。このような中、子供達にとっては、十分な準備ができなかったかもしれません。しかし、出来なかった、無理だったと嘆いていても、残念がっていても、何も変わりません。何も始まりません。その状況は、誰しも同じなのです。その中で、**今の今、自分ができること、しなければならないことを、ひた向きに、真摯に、誠実に実行していくことが何より大切なことだと考えます。**開会式で、「**今までで一番いい、最高のマラソン大会にしよう！**」と呼び掛けました。子供達は、このマラソン大会でいかなる状況でも自分の力を出すことの難しさ、出すことの必要性和重要性を学んでくれたものと信じています。

新型コロナとインフルエンザの同時流行については、日々の感染症対策を徹底し、「**恐れず、正しく、適切に。**」対応していきます。保護者の皆様の深いご理解とあたたかいご支援とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。**3学期、元気で逞しい子供達の姿を期待しております。**中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。